

《第70号》  
2011年  
10月30日  
(偶数月発行)

# 音響の本らぼん

編集担当

澤田 誠 (富山)  
堀 裕一 (石川)  
西島 理 (福井)

編集・発行人 山本広志 富山市下夕林280番地3  
電話・FAX 076-467-2965 QZW05776@nifty.com

## 北陸支部第2回音響セミナー開催

### 音響家のための教養セミナー

### 「日本で演じられてきた演劇」



未だ残暑厳しい9月13日、北陸支部では講師に八板会長をお迎えし、富山県割山森林公園天湖森キャンプ場にて音響家のための教養セミナー「日本で演じられてきた演劇」を開催しました。

「日本で演じられてきた演劇」を開催しました。



今回のセミナーは、音響家として音響や舞台の技術的な知識だけではなく、舞台芸術の歴史や発展の過程を知ることが求められていることから企画したものです。セミナーには参加者16名が参加し、参加者はキャンプ場内のログハウスで思い思いにリラックスしながら会長を囲んでの受講となりました。

八板会長からは古代の雅楽から現代のミュージカルまで、特に江戸時代の歌舞伎までを映像や実技を交えながら、連綿と続く流れをご自身のスタッフとしての関わりも交えながら講義していただきました。



また、セミナー終了後は、希望者は近くの温泉に入り、身体を温めてから、キャンプ場ならではのバーベキューを囲んでの懇親会を行い、北陸の食材に舌鼓を打ちながら親睦を



YAMAHA SOUND SYSTEMS INC.

舞台音響設備



## The frontier of the sound



ヤマハサウンドシステム株式会社  
<http://www.yamaha-ss.co.jp>

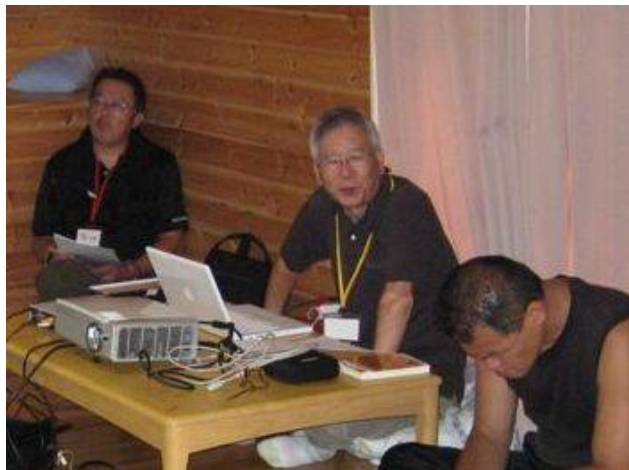
名古屋営業所 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052) 201-4922 FAX (052) 201-5650  
本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 TEL (03) 5652-3600 FAX (03) 5652-3927

大いに深めました。

## セミナーに参加して

小松 正俊

9月13日、日本音響家協会北陸支部主催の音響家のための教養セミナー「日本で演じられてきた演劇」に参加して来ました。



今回のセミナーは、昨年東京の新宿で行われた日本劇場技術者連盟のセミナーに参加した音響家協会北陸支部長の山本氏、岩崎氏、西畠氏の3名が、やはり舞台に携わる者は音響や舞台の技術的な知識だけではなく、舞台に関する歴史的なことや演劇に関すること、そして音楽に関する造詣を深めることはとても大切なことだと痛感し、是非このセミナーを北陸支部で開催したいとの思いで開催されました。

今回のセミナーは、「型にハマったことはしない」という山本支部長の方針により、富山県割山森林公園天湖森キャンプ場内のログハウスを借り切って、参加者は各自リラックスしながらの講師を囲んでの受講となりました。雅楽等（日本の伝統芸能）を、日本人は「左脳」で聴くのでどうしても眠くなるが、西洋人は「右脳」で聴くので眠くなるどころか逆にギラギラしてくる。という大変興味深い話から、「舞台は非日常の世界。舞台は虚を本物に見せ、映像は本物を虚に見せる」という話から、今回の音響ヴァージョンの講義がスタートしました。

日本の芸能の基礎となっている「雅楽」の概要、楽器、舞楽とたいへん判りやすく解説していただきました。続いて、能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎、オペラ、そしてミュージカルと、ご自身のスタッフとしての関わりや体験談を交えながら講義していただき、あっという間の大変充実した貴重な2時間を過ごしました。セミナー終了後は、近くの温泉で汗を流しバーベキューとなり、北陸の美味しい魚介類や山本支部長の家庭菜園で採れた新鮮な野菜を肴に盛大に懇親会が開催されました。懇親会では、参加者が演奏する「三線」を楽しみ、地域の伝統芸能等々「音」以外の話題も多く、大変勉強になりました。

(宮城県・中新田バツハホール)

## 舞台は、たのし

湊 晃

今回行なわれた音響セミナー、私はいろいろな意味で楽しく楽しんで、そして、本当に楽しいセミナーでした。

私は、自身の仕事としては興行やイベント事業の運営をすることが中心で、舞台の事業に携わることも多いのですが、これまで、舞台芸術の歴史や流れなどを振り返った事は、あまりありませんでした。今回の八坂会長のセミナーで、日本演劇の源流としての歌舞伎という事を改めて考えさせられ、建て直しのために閉館した歌舞伎座の最後の“俳優祭”で披露された「灰被姫（シンデレラ）」の歌舞伎…テレビで見たのですが、頭に浮かんできました。残される部分、新しくなっていく部分、いろいろ考え方もあるのでしょうか、どの世界でも難しい問題なんだろうなあ…と。もっともっと、いろいろと知識を深めていきたいです。

その後、夜のバーベキューでは、雅楽や古典ではないのですが、個人的な趣味の三線を持ち込んでしましまして（富山と沖縄は、売薬と昆布が架け橋となって、昔から、見えないぶっといパイプでつながっています）、沖縄音楽に、

入口から出口まで・・・

「感動」を伝えるための最先端技術を、  
お届けします。

TOA 株式会社 金沢営業所 〒921-8163 金沢市横川7丁目35番1号 TEL: 076-244-1951

**CTRANTEC**

S-D7000シリーズ  
デジタルワイヤレスシステム

type C  
ラインアレイスピーカースystem

古典あり、新民謡あり、芝居歌あり！「小さなステージでも、楽しい！（小さな声で）見ている側は、判らないけれど…」すみません。また、このような機会がありましたら、ぜひ参加させてください。（北日本放送）



湊晃さんによる心がこもった三線演奏（左端は小松さん、泡盛の瓶を握っているのは岩崎さん）

### 飛騨旅行記

堀 裕一

新年度に突入してから、あっという間に上半期が終わってしまい、もう 10 月です。急に気温が下がりましたが、皆様体調など崩されておられませんでしょうか。6 月号は金沢舞台の稲村さんに野々市町文化会館の改修状況、8 月号は L.F.I.の新谷さんに Jazz イベントの真面目なレポートをご寄稿いただきましたが、今月号は私的な家族旅行の話題ですので、興味のない方は読み飛ばしてください。

娘が 2 歳の時から始めた夏期の家族旅行も今回が 3 回目。カミさんが「涼しいところに行きたい。」という事で、今年は 9 月上旬に 2 泊 3 日、飛騨地方に行ってきました。

台風一過の 9 月某日、一路飛騨へ出発です。今回の娘のメイン行事は『牧場』と『洞窟探検』。天候が回復しなかったため、初日に予定していた牧場を延期して、飛騨大鍾乳洞へ行きました。大橋コレクションという美術館も併設されて

おり、以前盗難に遭った『金塊』なども展示されていましたが、4 歳の娘は全く興味を示さず、そそくさと美術館を後にして鍾乳洞に入りました。薄暗い洞窟を想像していましたが、足元はきちんと舗装され、ちゃんと階段や手すりもあり、鍾乳石にはライトアップが施され、子供連れにも安心な素敵な観光施設でした。



その後、高山市内に移動して、くまのぬいぐるみ博物館「ティディベアエコビレッジ」へ行きましたが、鍾乳洞で満足したのか、長距離移動で疲れたのか、娘の反応はイマイチでした。（残念）

2 日目は天候も回復し、すがすがしい天気となりました。高山市内の朝市に寄ってから、ひるがの高原「牧歌の里」に行ってきました。青い空に、白い雲。緑の牧場。馬・羊・牛・うさぎ。娘のテンションあがりっぱなしです。「なになに、お馬さんに人参を食べさせたいの？はい、100 円。」「次は羊におやつをあげたいのか。はい、100 円。」「今度は、牛の干し草かいっ！ほれ、100 円。」・・・と、手持ちの 100 円玉が、みるみるうちに餌代入れ小箱に消えて行きました。小銭が飛んで行く以外は、のんびりとしたいい 1 日でした。



3 日目は、高山市内の古い町並みを散策して、



**Electro-Voice**



**DYNACORD**  
GERMAN ENGINEERING EXCELLENCE



**EVI AUDIO**



**RTS**



**TELEX**



**BOSCH**

株式会社 イーブイアイ オーディオ ジャパン

www.eviaudio.co.jp

150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-7 ボッシュ渋谷ビル4F Phone:03-5485-4427 Fax:03-5485-4428

□名古屋営業所:460-0016 愛知県名古屋市中区椿1-20-18-2F Phone:052-331-9691 Fax:052-331-9592

地酒の試飲を堪能し、昼食は「豆天狗」とうお店で高山ラーメンを食べました。昼食後、高山を離れ、世界遺産「白川郷」を散策して帰路につきました。「飛騨牛」「飛騨豚」「鶏ちゃん」「漬物ステーキ」「飛騨地酒」など、飛騨グルメを満喫し、朝夕温泉三昧の3日間ですっきりリフレッシュ出来ました。下半期もがんばりましょう！

追伸：先日の検査で尿酸値が3・6→8.6となっておりました。レッドカード一発退場な数値なので、現在節制中です。

(金沢市アートホール)

### シンポジウムに参加して

西島 理

10月27日、さいたま市で行われた埼玉県舞台技術協会と日本劇場技術者連盟主催の合同研修会“地域住民のための快適な公共ホールを目指して”に参加してまいりました。

まず、午前中は「舞台進行の役目」として、八板会長と松戸市民劇場の福田義明さんの対談がありました。

その中で特に印象深かった言葉をいくつか紹介すると、

- 舞台進行はスタッフの窓口であり、対機械ではなく対人とのコミュニケーションスキルが必要
- プライドは家を出るときに神棚に収めてしまう
- 素人さんにきちんと説明できるのがプロである
- プロの目指す音と出演者（お客）が目指す音は違うものである
- マイクフォンは音響家のものではなく出演者のもの
- 最新の機材だけではなく最新の人材も必要（年齢ではなくスキルの面で）
- スタッフのマルチタスク化が必要である（舞台+営業・音響+照明 等）

最後に福田さんが言われた

「（舞台進行は）当日の流れに乗る」という言葉には大変感銘を受けました。



その後、昼食をはさみ、午後からは「新時代の公共ホール運営を考える」と題し、八板会長がコーディネーターをされ美術デザイナーの滝善光さん、音響オペレーターの伊藤勝仁さん、舞台監督の早船司さん、照明家の今野幸彦さんをパネリストに迎えて行われました。

まず危機管理の面では事故には責任が発生しその中で様々な責任があるが、中でも道義的な責任により信用が失墜することがあげられました。また、日頃の自覚が重要で、先人（先輩）の経験談・忠告・助言が有効であること、

危険な装置は「停止方法」を最初に取得すべきであることも挙げられました。しかし、現在の若手は先輩を見る（盗む）ことができない、マニュアルがないと動けないという傾向もあるとの声もありました。

危機発生時の対処では、特に地震時には通常震度2程度までは公演が継続する人が多いこと、それ以上の震度で観客が騒然とした場合は公演を中断させる判断をすること、震度6以上では避難も無理なのでその場で身の安全確保をはかることが良いということでした。また、実際の震災発生時にはブリッジの動作ができなくなり作業員が取り残されたことも報告されました。また避難誘導についても客席天井の

## 音の出口から入口まで

森本浪花音響計画有限公司

URL <http://www.mnsp.co.jp/>

構造の違い（吊り天井等）により、一概には言えないとのことでした。

次に利用者対応に対してのテーマに移り、特に

- 専門家の目線が上から目線になる
- 「知識」だけでは役に立たない。「知恵」を使えば巧くいく
- 誰でも窓口になれる力
- オーナーシップを持つ  
(経営者になったつもりで努力すれば自分も成長する)
- 出入り業者も大切にする(業者は取引先の様子を見ている)
- 従業員のイライラは客をイライラさせる
- 意地悪なメッセージをしない(ここは◎◎ではありません→ではどうしたらいいの? ...)

などの話がありました。

こうして改めて話を聞くと、把握していたり、頭では分かっていたりも実行していなかったことなど、改めて考えさせられることの多いシンポジウムでした。このシンポジウムでは答えを見つけたり、こうしなければならぬという趣旨のものではありませんでしたが、これから各々の職場で自らの手で改善していく一つのヒントにはなったかと思えます。

(ハートピア春江)

## 四方山話

澤田 誠

ご無沙汰しております。酒宴の席と原稿が困った時だけ登板する澤田です。

最近、私の4歳になる息子がウルトラマンにハマっております。私の世代は（生まれる前からですが）ご存知、ウルトラマン、セブンあたりからレオや80ぐらいまで記憶しておりますが、現在はセブンの息子ゼロが活躍しているようです。驚くのは、子どもの記憶力です。全てのウルトラマンの必殺技や怪獣、宇宙人の名前を幼い子どもが記憶しているのには親として

驚かされるばかりです。多分、同じ経験をされた皆さんも多いことでしょう。でも、私自身は頭が良かった方ではないので、息子は妻に似たんだと思います(笑)

そんな訳で、たまの休みの日には手取フィッシュランドに父子で出沒します。着ぐるみや〜と大人はわかっているけど、子どもにしたらとても憧れの存在なのかなと横から見てて思いますし、舞台の仕事に携わる父親として可能な限り子どもには受動的なテレビだけではなく、能動的に参加者が意識を共有できるライブのステージを目の前で見せてやりたいと思うのです。と、言うのは何でも知識はインターネットをはじめとするあらゆる手段で手に入る今の時代ですが、自分で経験せず知識で頭でっかちになるせいか、失敗を予測回避することを優先して、成長する可能性のチャンスを逃す方々が私より若い世代でも多い気がします。確かに、今の時代はどこでも即戦力が求められるので、私が入社した16, 7年前のような失敗してもいいんだよといった大らかだった時代とも違うのですが、若いうちに自分達で仮説をたてながら公演計画を実行していくプロセスでキャリアという得がたい財産も蓄積されていくのかな〜とも考えます。

まあ、不惑を迎えて体力が落ちたナーと痛感している自分への戒めとして、また、日頃ほったらかしにしている子ども達が想像力たくましく自分達で感性のアンテナを磨いて欲しい願いを込めて本日はこれでおしまいです。

(入善コスモホール)

## 北陸支部第3回音響セミナーご案内

当支部では、来年2月に23年度第3回音響セミナーを企画いたしました。

今回は、2月7日(火)七尾サンライフプラザ(石川県七尾市)にて、びわこホールの小野隆浩さんをお招きして「オペラ音響の仕事」と題して、セミナーを開催いたします。「音」と「響き」、この両者を観客に伝えることが「音



響」の仕事であり、上演作品がもつ音の全体像（イメージ）にむけ音と響きをコントロールする「音響デザイン」には、様々な手法があります。生の音で上演される「オペラ」でさえ「音」と「響き」をコントロールするのが「音響デザイン」。小野さんの手掛けるオペラ音響には、定評があります。併せて音響メーカーによる最新音響事情を紹介いたします。なお、セミナー終了後、小野さんを囲んで和倉温泉で懇親会を予定しています。この機会をお見逃しなく、お誘い合せの上ご参加ください。

次号（71号）の「小音響かわらばん」で詳しくご案内いたします。

記

### 第3回音響セミナー「オペラ音響の仕事」 &最新の音響事情

日時 平成24年2月7日（火）13時～  
場所 七尾サンライフプラザ（石川県七尾市）  
講師 小野隆浩氏（びわこホール所属）  
参加費 セミナー会員無料、非会員1,000円  
懇親会費 10,000円（宿泊飲代込）

## 日本音響家協会北陸支部会員名簿

職場を異動になった人、住所が変更になった人は、事務局までご連絡ください。

事務局長 岩崎 証意 Tel/Fax076-493-1064

### 北陸支部会員名簿

赤松 雅史	サウンド ジェネレーション
伊藤 博	富山県文化振興財団
稲村由香里	株式会社金沢舞台
岩崎 証意	富山県民会館
浦風 昭一	有限会社ショー・ワン
江口 新一	金沢市民劇場
江本 裕一	富山県教育文化会館
加藤 敏久	富山県生涯学習カレッジ
川口 泰典	新川文化ホール
菊野 勉	フリーランス

木村純一郎	富山県民小劇場
栗原 啓輔	フリーランス
酒井 恵一	株式会社北陸共立
笹谷 務	富山県民会館
澤田 誠	入善コスモホール
鹿野 浩司	株式会社 エスアールディ
新谷美樹夫	L.F.I
高木 裕	富山県教育文化会館
高野 仁	新川文化ホール
鷹栖 了	金沢市役所
高畑 進	(株) 開進堂楽器
田嶋 友亮	高岡市民会館
谷川 修	みくに文化未来館
茶花 宏之	有限会社アジアンテック
辻井 克之	七尾市公共施設管理公社
寺 仁	金沢市役所
寺田 裕子	フリーランス
永澤 清一	財団法人クロスランドおやべ
中川 靖夫	高岡文化ホール
中道 正行	福井県民ホール
西 一彦	砺波市美術館
西畠 理	ハートピア春江
橋本 正治	浄土真宗親鸞会
長谷 隆志	富山県民会館
平山 亮	金沢工業大学
廣田 英貴	新川文化ホール
藤田 充博	富山市民芸術文化ホール
堀 裕一	金沢市アートホール
牧野 豪	財団法人金沢芸術創造財団
水野 文雄	フリーランス
湊 晃	北日本放送
本 輝夫	石川県教育会館
本 弘	NHK金沢放送局
森山 茂	エービシステム
山口 雅照	金沢市文化ホール
山崎 武志	津幡町文化会館シグナス
山本 広志	新川文化ホール
吉田 幸光	金沢歌劇座
吉田 正勝	株式会社北陸共立

**Roland**  
このフレキシビリティが  
新しい時代のスタンダード。  
**V-Mixer Live Mixig Console M-300**  
ローランド株式会社 <http://www.roland.co.jp/solution/>